

県政と皆様を結ぶ情報誌



県政報告

vol.13

2022.4月発行

愛知県議会議員

神谷まさひろ



「日記形式での県政報告Vol.13」をお届けします。今回の県政報告は2月定例会の内容が中心ですが、その中でも特に、本会議・委員会・連絡会などにおける私の質問や発言についてご紹介しています。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



2.10 木 ▶ 市議との勉強会 「刈谷まるごとスマートシティ」

仲

間の刈谷市議会議員さん6名を対象とした県政報告会・勉強会を実施しました。定例会開催前に必ず開催して、定例会に上程予定の議案などについて説明をしているのです。今回はその中で「刈谷スマートシティ研究会での検討成果について」も説明をしました。

過日、中日新聞1面に大きく掲載されていたこともあり皆さんの関心も高い事柄です。ここでは、ワーキング



チームにおいて検討し、企業等から提案された実証実験プロジェクト等のアイデア30項目の内、先行して具体的に検討して行く8つの

プロジェクトを紹介します・・・

- ◎センシング技術を用いた交差点の安全確保
- ◎乗降、ドア回りセンシングで得られる乗客などのデータの地域活用検討
- ◎J-クレジット制度を活用した市内循環モデルの構築
- ◎5Gを活用した救急医療分野の実証実験
- ◎タブレット等を活用した訪問介護、リモート診察
- ◎スマートデバイスによる遠隔でのバイタル管理
- ◎パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボットの高齢者施設等での実証
- ◎セキュアな(安全性の高い)個人認証技術による行政サービスのスマート化
(センシングとは=センサーを利用して物理量や音・光・圧力・温度などを計測・判別すること)

2.15 火 ▶ コロナ対策の委員会で質問しました

新 型コロナウイルス感染症対策特別委員会が開催され「5歳から11歳までの子供へのワクチン接種は慎重にすべき」との立場で質問しました。

本来、ワクチンの接種は、医師がリスクとベネフィットについてしっかりと説明をし、受ける側も十分納得した上で行われるべきものだと思っています。しかし、接種する現場でじっくり説明をする時間がないのが現実ではないでしょうか。であれば、接種体制を整備している県が事前の広報によってこのリスクとベネフィットを周知すべきであると思います。

これらを広報することはもしかしたらワクチン接種にブレーキを掛けることになるかもしれません。しかし、きちんとした情報を提供して、その結果、ワクチン接種率が下がったとしても、それは県民が自ら判断した結果であり、接種率を高めることに躍起になるよりも、県民の命や健康を守るという意味で、県の取るべき立場であると思っています。

ところで・・・ワクチンを接種するベネフィットは何でしょうか。「感染予防」と「重症化予防」が挙げられています。しかし、本当にこの2つの予防効果が実際にあるのかどうか・・・



愛知県における第6派の陽性者数のうちの「軽症・無症状」者数の割合は98.6%とのことでした。また、10代までの子供さんで、これまでコロナ陽性となった方は48076人、そのうち重症者は5人、亡くなった方はゼロとのことです。そもそも重症化しないのです。このことから「重症化予防のベネフィットは少ない」と言えます。また、既に2回接種した方でも陽性者が多数出ていることから「感染予防のベネフィットも少ない」と言えるのではないのでしょうか。

3月初旬から子供へのワクチン接種が始まるようです。しっかりと情報を収集して適切な判断をされるように願っています。

2.17 木 ▶ 2月定例愛知県議会が開会

令 和4年2月定例愛知県議会が開会しました。冒頭、知事による議案の提案説明が行われました。原稿はA4で48ページ、比較的早口で説明しても約1時間という豊富な内容でした。今日の中から「元気な愛知の礎は人づくり」ということで、子どもたちの学力を伸ばす教育の充実に関する施策の一部を紹介します・・・



■小学校第1学年から第3学年、中学校第1学年で実施している35人学級を、本県独自に、小学校第4学年に拡充

- 小学校高学年における教科担任制を推進
- 2023年度からの新しい公立高等学校の入学者選抜制度の導入や、2024年度からのWeb出願導入を準備
- 本年4月から、教育委員会に新たに「ICT教育推進課」を設置
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充
- 「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、校舎等の改修工事を計画的に実施
- すべての普通教室棟、管理棟及び一部の特別教室棟にある湿式トイレについては、2023年度までの洋式化、乾式化

3.2 水 ▶ NHK大河ドラマ『どうする家康』の放送を活かした観光振興

2 月定例愛知県議会一般質問の2日目です。今日は7名の議員が登壇しました。その中で2人の議員から「来年のNHK大河ドラマ『どうする家康』の放送を活かした、武将観光のPR・プロモーション

の取り組みについて」の質問がありました。

先月、県と市町、観光関係団体等で構成する「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」が設置され、

今後はこの協議会を中心に取り組みを推進するとのこと
です。この協議会には当然、刈谷市や刈谷市観光協会も
会員となっています。2022年度の県事業の予定として
は①統一的なPR・プロモーション ②広域からの観光
誘客 ③県内周遊の促進 です。

刈谷市のマスコットキャラクターかつなりくんのモデル

となった水野勝成は徳川家
康とは従兄弟に当たります。
来年の大河ドラマを機に、
コロナで痛めつけられた観
光産業復活への狼煙を上
げることが出来ればと思っ
ています。



3.4 月 「飲食店が感染の原因」⇒根拠は低い と主張

私

たち無所属議員7名を対象とした連絡会が開
催されました。内容はまん延防止等重点措
置の再延長に係る補正予算などの説明です。

「1月21日からのまん延防止措置により飲食店への時
短要請を行っても、陽性者が減少するという結果に繋
がっていないではないか。また、これまでのコロナ対策特
別委員会の中で示された感染経路別内訳でも飲食店が
感染の原因であるという根拠は極めて低いではないか。
それなのになぜ飲食店の時短要請を延長するのだ？」と
いった質問をしました。

「まん防における国の基本的対処方針の中に謳われて
いるから」との答弁でした。そのようなことは当然判ってい
ましたから、何だか恨み節と言うか愚痴のような質問に
なっていました。今後始まる5歳～11歳へのワクチ
ン接種(特別支援学校
での接種)といい、国の
政策にあがなえない苛
立ちが募ります。



3.9 水 本会議において質問しました

議

案質疑の3日目。私も「グローバル社会で活躍
できる人材の高等学校での育成」「刈谷北高校
と豊田自動織機との土地の交換」の2件につ
いて質問しました。

刈谷北高校は現在の[国際教養科]が2023年度より
[国際探究科]に改編されます。この[国際探究科]では「外
国語によるコミュニケーション能力や、他者との間で共通
解を見出していく力など、グローバル人材に求められる力
の育成を目指し、より幅広い分野で探究的な学習を展開す
る」として、来年度、移動式のテーブルとICT環境を備えた
ワークショップルームと、大型ディスプレイを常設したプレ
ゼンテーションルームを整備することになっています。

また、来年度中に刈谷北高校の東グラウンドと豊田自動
織機の本社グラウンドを交換し、2023年度より新グラウ
ンドが供用開始となります。今回の交換は単に刈谷北高校
にとってグラウンド面積が増加して教育環境が向上すると
いったメリットだけではありません。豊田自動織機さんは本
社ビルの隣に広大な敷地を持つことになり、その有効活用
については無限の可能性を秘めていると思います。そして

ワークショップルームの整備

対話やグループ活動などのコミュニケーション活動が行いやすい空間に整備



コンピュータを活用
した外国語教育を
改善・拡張



改修イメージ

プレゼンテーションルームの整備

成果発表会、講演会、海外の姉妹校の生徒との交流授業に活用



普通教室2部屋を
1室に改修



改修イメージ

そのことは、刈谷市や愛知県の経済や産業の活性化にと
つても無限の可能性を秘めた貢献をしてくれるものと信じて
います。また刈谷北高校にとつても隣接するグローバル企
業の本拠地が更に強力なものになって行くことは、国際探
究科における教育の目的にも合致している素晴らしいこと
だと思います。

3.14 月 農林水産委員会において質問しました

私

の所属します農林水産委員会が開かれ、「有機農業推進の取り組み」といった内容で一般質問をしました。

愛知県では新年度、国の行う有機農業産地づくり推進緊急対策事業の対象に東郷町と南知多町を選定して、生産から消費までの取組に対してその経費を補助することになっています。また、有機JAS認証を理解・指導出来る有機農業指導員を、これまでの7名に加えて更に12名を育成して、県内全域で有機農業の取組推進に対応できる体制を整備するとしています。

私はその2つの取り組みに加えて、「生産することに対するインセンティブを与える仕組みを、県としてつくる必要があるのではないか」と提案しました。たとえば「給食に使用する有機JAS認証の野菜はそうでない野菜より5割高く購入する費用を県が負担する」といったしくみです。

これは、千葉県いすみ市の市長さんが言われた「今年の米価(60Kg)は1万円を下回っている状況の中で、いすみ市では有機米を学校給食用に2万円で買い上げている。オーガニック化を進めた6年前には有機農業の

農家は一軒もなかったものが、現在は多くの農家有機栽培を行っており、学校給食での米は全て有機米にすることが出来るようになった」との言葉にヒントを得ての発言です。



しかも初めから学校給食を対象にしてしまうと、それだけの生産量が賅えないといった別の問題が発生することになるので、まずは食数の少ない保育園から、しかも全ての保育園から同時に行わなくても、可能な生産者(保育園)、可能な野菜一品からでも・・・

有機農業は、なかなか一步を踏み出すことができない状況があると考えています。そうした中、購入先と購入単価がきちんと保障されていて、しかも少量でも一品からでも良いといったことで、一步を踏み出す後押しになるのではないかと考えます。

映画『食の安全を守る人々』

自主上映会+市議会議員を交えての意見交換会

～安全安心な給食を子供たちへ～

日時・会場
【刈谷市】

4月16日(土)

14:00～17:00

一ツ木市民館

(一ツ木町4-37-3)

4月17日(日)

9:00～12:00

総合文化センター小ホール

(若松町2-104)

4月17日(日)

14:00～17:00

たんぼぼ(南部生涯学習センター)

(野田町西田78-2)

参加費

どの会場も

500円(当日払い)

高校生以下無料

- 予約制ではありません。ご希望の日時・会場にお越しください。
- 但し、万が一満席の場合は入場をお断りすることが御座います。
- また、新型コロナウイルス感染の状況により中止をすることが御座います。(その際は、神谷まさひろのホームページにてお知らせ致します)



<http://www.kamiya.gr.jp/>

発行／神谷まさひろ事務所

住所／〒448-0028 刈谷市桜町345

TEL／0566-23-0344 FAX／0566-23-1399

紙面の都合上、一部の内容しか掲載することが出来ません。私のHPでは日記をほぼ毎日更新していきますのでぜひご覧下さい。

<http://kamiya.gr.jp>

神谷まさひろ

検索

